よみキャン通信

よみたん放課後キャンパス はじめました！

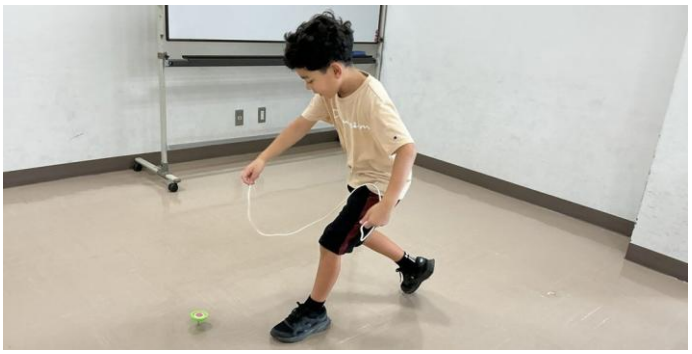
2026年11月4日発行

vol.1

こどもたちが夢中になれる放課後をつくってます

2026年9月、読谷村文化センターを拠点に、小学生の放課後の新しい居場所が始まりました。ここには時間割がありません。図書館で本を読む子、中庭でボールを追いかける子、何もせず空を見上げる子。過ごし方は、こどもたち自身が話し合って決めます。このニュースレターでは、こどもたちが夢中になる姿と、それを支える地域の大人との出会いを、これからお届けします。

いま、夢中になっていること



こまは、買いに行くところから

やってみたい！から始まり、みんなで買いに行ったこま。友達の手元を見て、わかった！と巻き方を変える子も。



座喜味城跡まで足をのばして

広い芝生でボールを追いかけ、帰り道の草むらではカナヘビを発見。スタッフも一緒になって夢中に。



スタジオで、遊びが進化する

火曜日の拠点は健康増進センター。並べたマットの遊びは日ごとに形を変え、ある日は目隠し迷路に。



地域共創プログラムも開始

今回は旅をテーマに地図を囲んで、みんなで大盛り上がり！

体験プログラム

参加者募集

よみキャン親子体験会「今日、なにする？」

12月13日（日）9:30〜12:30　読谷村文化センター　参加無料

よみキャンが気になっている親子、利用を迷っている親子、どんな様子か知りたい親子のみなさん、ぜひどうぞ。

詳しくは裏面へ

よみキャンの見学・利用のご相談も、いつでも受け付けています（右のQRコードから）

体験プログラム

参加者募集

よみキャン親子体験会「今日、なにする？」

やることは、自分で決める。その気持ちに、大人がそっと寄り添う。よみキャンのいつもの放課後を、親子で体験してみませんか。保護者の方は、こどもたちの様子やスタッフの関わり方を見学しながら過ごしていただきます。

こちらから申込み

こんな親子におすすめ

- よみキャンが気になっている親子
- どんな様子か知りたい親子
- 利用しようか迷っている親子
- いま通っている親子も歓迎

当日の流れ　9:30〜12:30

1 はじめまして	2 やりたいことを選ぶ	3 チームで活動	4 ふりかえり	5 みんなで共有
アイスブレイク	工作・運動・探検	選んだことに夢中に	チームで30分	全体で15分

日時　12月13日（日）9:30〜12:30
場所　読谷村文化センター　講座室
対象　読谷村内の学校に通う小学生と保護者
定員　こども15人＋保護者の方
参加費　無料
申込締切　定員になり次第終了

保護者の声

「今日はキャンパスの日でしょ」

よみキャンの日は朝から喜んで出かけていきます。おやつを150円の中で自分で選んで買いに行ったのが、特に楽しかったようです。

学校も学年もこえて

学校では同じ顔ぶれで遊びがちですが、ここでは違う学校や学年、男の子とも女の子とも仲間になって遊んでいます。行く曜日を心待ちにしています。

こどもが選べる場所

調べたいことがあれば図書館へ。外にもいられるし、中でも柔軟に遊べる。何かあっても一人ひとりのこどもの気持ちに寄り添ってもらえるのがとても安心できます。

運営メンバーからのメッセージ



はあと

よみキャンの「はあと」（菅原真心）です。読谷で22年続くよみたん自然学校で15年、こどもたちと「やりたい！」を形にする毎日を過ごしてきました。大切にしているのは、こども自身が何をやりたいのかに気づくこと、大人がやらせるのではなく試行錯誤をそばで支えること、友達との関わりの中でもその子の気持ちを大事にすること。自分のやりたいことだからこそ、こどもは夢中になります。地域の事業者さんや地域の方々の力も借りて、放課後を体験から学べる時間に。こどもも大人も安心して一緒に成長できる居場所です。

地域のみなさんへ

こどもたちの世界は、出会う大人の数だけ広がります。得意なことや仕事のことなど、夢中になっていることをこどもたちに伝えてみたいことがある方は、ぜひお声がけください。

お問い合わせ
info@yomicam.jp
運営：ケイスリー株式会社、
認定NPO法人よみたん自然学校
yomicam.jp

こども家庭庁「令和８年度企業等の活力を活かした小学生の預かり機能構築モデル事業」
発行：よみたん放課後キャンパス事務局